

健やかに生き、安らかな最期を

Living Will

2026年
7月発行

No. 202

リビング・ウイル

「第26回尊厳死協会世界連盟 東京大会2026」迫る！ スケジュール固まる

○細田亮・受容協力医師の熱い思い

○26年度事業計画・予算決まる

○連載「四季の歌」かたつむり



公益財団法人
日本尊厳死協会

JAPAN SOCIETY FOR DYING WITH DIGNITY



【スケジュール】(予定。詳細は10月1日発行の次号会報でお知らせします)

初日(11月25日 水曜日)

午後 海外からの事前登録受付
尊厳死協会世界連盟理事会
ウェルカムレセプション
(世界連盟理事、日本尊厳死協会役員)

2日目(11月26日 木曜日)

世界連盟総会
開会式 日本尊厳死協会 北村義浩理事長挨拶
世界連盟 Asunción Alvarez 会長挨拶
午前 基調講演「世界連盟 歴史とともに歩んだ50年の発展(仮)」
Rob Jonquiere 世界連盟前事務局長
基調講演「苦痛からの解放をめぐる社会的挑戦」
Sean Davison 世界連盟元会長
午後 特別講演 柳田邦男氏(ノンフィクション作家)
シンポジウム1 東アジアにおける終末期医療法制度
セッション1 一般演題「自立の歴史・哲学・教育等、分野横断テーマ」

3日目(11月27日 金曜日)

午前 シンポジウム2 尊厳死：医療介助死・緩和ケア・鎮静・自発的飲食停止
(文化・歴史・倫理的背景の多様性と相互理解)
セッション2 一般演題「日本における終末期ケアの社会的・関係の側面」
セッション3 一般演題「医療介助死の国際比較」
午後 シンポジウム3 認知症とリビング・ウィル
シンポジウム4 人工的な栄養と水分補給の差し控えと撤回
セッション4 一般演題「医療介助死の社会的実践とケア」
記念講演 日本尊厳死協会創立50周年にあたって

4日目(11月28日 土曜日)

午前 自由交流セッション 映画上映「痛くない死に方」
もしバナゲーム(もしもの時を考えるゲーム)
医療相談コーナー
法律相談コーナー
セラピードッグとのふれあいと実演

【登録と参加費等のお知らせ】

登録

大会に参加するには事前登録が必要です、
登録は協会ホームページの大会特設サイトからお願いします。

参加費

全日全プログラム聴講可能・昼食なし：協会会員 3 千円、一般参加者 5 千円
全日全プログラム聴講可能・昼食付き：2 万円(同伴家族 1 万円)
3 日通し券のみの発行で、単日券はありません。

記念品

ご参加の皆さまへの記念品として、会報で人気の「四季の歌」を1冊にまとめた
オールカラー写真歌集(英語版付)、さらに協会50年の歴史をまとめた記念誌
『年表が語る協会50年の歩み』を大会バッグに収めてお渡しする予定です。

会場では、くつろいでお過ごしいただけるよう、茶菓もご用意しております。
この特別な機会に是非ご参加いただき、学びと交流を深め、お楽しみいただければ幸いです



今回のテーマは「MY LIFE, MY CHOICE」
(自分の最期のあり方は自分で決める)。
50年前の第1回東京大会で、世界連盟の活動目的として
高々とかかげた「東京宣言」からちょうど半世紀が経ちました。
この間、世界各国・地域では「患者の権利法」や
「終末期医療指示法」などの名称でリビング・ウィルに関する
法的枠組みが整備され、それぞれの歴史や文化、
風土などの多様性に合わせて
「自己決定に基づく良き死」を目指して進んできています。
そうしたなか、日本もリビング・ウィルの法制化に向け、
その機運を大きく高めるべく、あらためて原点の地・東京から
「尊厳死のメッセージ」を世界に発信していく大会を開催します。
大会まであと4か月ほど。4日間のスケジュールの概略も固まり、
準備は着々と進んでいます。そのスケジュールと、
これまで日本で開催された3回の大会と第1回大会での「東京宣言」、
さらに前回の「ダブリン大会の模様」などを併せて掲載してお伝えします。

MY LIFE,
MY CHOICE
わたしの人生、
わたしの選択

「第26回尊厳死協会世界連盟 東京大会2026」迫る！

スケジュールの概略、固まる

11月25〜28日開催 会場：都市センターホテル



会場となる東京・都市センターホテル

尊厳死協会世界連盟とは

「尊厳死協会世界連盟 (World Federation of Right to Die Societies)」は、人生の最終段階における自己決定や尊厳死を推進する世界30カ国・60団体以上が加盟する国際的なネットワーク。各国での法整備やリビング・ウイル(事前指示書)の普及、倫理的な課題について情報共有や議論を行っている国際団体です。日本からは「日本尊厳死協会」だけが加盟。基本理念として「いかなる死を選ぶかは個人の決定に委ねられ、自分の意思を表明するリビング・ウイルは基本的人権として尊重されるべきである」を掲げています。

日本ではこれまで3回開催

①「第1回世界国際会議・東京大会」(1976年)

協会設立わずか2か月後に「国際会議開催」決定！

今の日本尊厳死協会の前身である



協会がスタートしたその年の8月に国際会議を主催した

「日本安楽死協会」が設立されたのが1976年1月。そのわずか2か月後の3月に「8月国際会議開催予定」と決めて準備に入り、8月23、24の両日、東京で第1回国際会議(毎日新聞社後援)の開催に至りました。参加者はアメリカ、イギリス、オランダなどからの招待者12人、国内代表19人。議題は、この年の3月にあった「カレンさんの裁判」(「カレンさんの生命維持装置を外すことを認める」という、自己決定権を重んじ患者には生を最終する権利があるとするアメリカ州最高裁判決)などでした。この判決は全米の各州に、患者の意思を尊

なるには至りませんでした。デービス世界連盟会長は「末期患者の意思に従ってよりよい死を迎えさせることが医師の務めである」と主張しました。

③「第15回世界会議東京2004」

世界会議みた日本に

9月30日～10月3日、東京・都市センターホテルで、欧州7、北米2、

南米1、オセアニア1、アフリカ1の12か国、17団体からの代表50人を含む約500人が参加して開催されました。基調講演では厚生省医政局長の岩尾總一郎氏(現尊厳死協会名誉会長)が「日本の終末期医療の今後のあり方」を講演。開会式では奥田碩・尊厳死協会顧問(日本経団連会長)が「違いを受け入れる社会に尊厳死は象徴的な存在」と尊厳死の根源をわかりやすく解説しました。

「前回」第25回ダブリン大会2024の様子

「今回の東京開催」が満場一致

2024年9月19～21日、アイルランドのダブリンで開かれ、日本尊厳死協会からは北村義浩理事長はじめ満岡聰、上別府圭子、神馬幸一の各理事が出席。「2026東京大会」の招致活動を行い、満場一致で東京開催が決まりました。

大会は初日が世界連盟主催の総会。70人ほどが参加して予算・決算、さらに理事や次回開催地の選挙などが行われました。2日目、3日目はア

イルランド協会主催で、初日よりや大きな部屋に用意された20ほどの円卓に100人程度が参加してのカンファレンス。2日にわたり多くの演者が安楽死、尊厳死等に関する発表を行いました。

「日本の学会のように系統的にまとめるということではなく、各国各人がそれぞれ自由な意見を発表するよいうな感じ」と参加した理事は報告しています。



「ダブリン大会」に参加した満岡理事、一人おいて北村理事長、上別府理事(左から)



上／北村理事長による東京招致演説
下／各国の参加者との懇談シーン



東京宣言

人間の権利と自由を確信し、品位ある死の権利を保有する。人がいかなる死を選ぶかは、自らの決定にゆだねられるものであって、死の別れに伴う悲しみのほかには周囲の人々に害を及ぼすものであってはならない。個人の願いの表明または「生者の意志」は人間固有の権利として尊重されるべきである。従ってこの種の書面が法的に効力を持つことを要求、当面立法化に努める。今後情報交換のため国際会議を定期的に関き、目的を達成したい。(要旨)

第1回大会で採択された「東京宣言」

重し死の迎え方を選ぶ権利の立法化の機運をもたらす画期的なものとなりました。他に、イギリス代表からは「立法化には世論の喚起と支持が必要」、オランダ代表からは「積極的な安楽死には問題がある」などの意見や指摘がなされています。ここで世界大会の隔年開催も決まりました。

②「第9回世界国際会議・京都大会」(1992年)

同時通訳が活躍、反対デモも



同時通訳のヘッドホンで聴く参加者

10月23～26日、国立京都国際会館で第9回大会が開かれました。15か国、19団体の代表28人をはじめ会員たち約900人が参加。日英同時通訳が活躍し、参加者はイヤホンで聞き入りました。開催中、新左翼のデモ隊が会場外で「弱者切り捨てになる尊厳死反対」のシュプレヒコールを繰り返しましたが、講演が中止に



上／開会式であいさつする奥田顧問
下／分科会では参加者同士も討論

「世界大会」開催を控え 赤字予算編成で対応

2026年度の事業計画および収支予算などが、3月8日に対面とオンライン双方にて開催された理事会で決まりました。2025年度の決算案は、6月13日の評議員会で了承されました。

北村義浩理事長は、今年度について「会員数の減少傾向が続くなか、会員増に向けた努力を継続していくのはもちろんだが、それと同時に、寄付や遺贈のお願いをする取り組みをこれまで以上に進めていく必要があると感じている。アイデアや知恵を出し合いながら、運営資金の確保を強化していきたい」としています。

会員数の現況

2025年度末の会員数は

6万8800人で、前年度に比べ6261人の減少でした。昨年は6303人、その前年が6140人の減少でしたから、年6000人ペースで減少しています。新入会者数は1448人で前年度の1532人に比べ84人の減少。退会者（死亡・会費未納自動退会を含む）は7709人（前年度は7828人）と前年に比べ微減ではありましたが、依然として入会者を大きく上回っています。

新入会者で最も多かったのは70歳代（約33%）で、ここ10年以上、変わっていません。次が80歳代、60歳代と続きます。ちなみに2017年から開始したWEB入会登録数が、昨年は411人増えて2577人に達しました。WE

B入会は40代〜70代が多く、徐々に「若年層」入会の効果が出てきているといえます。

事業報告と計画

①LWの普及啓発事業、②登録管理事業、③調査研究及び提言事業が3つの柱。①の啓発事業として、昨年度は講演会、セミナーおよび出前講座の総数は123回（前年度は119回）とコロナ時（70回程度）より大幅に改善し推移しています。講演会やセミナー等で録画した動画の配信もHPなどで引き続き行っています。メディア普及啓発活動として、2023年5月号から「婦人公論」にてメディア展開を行ってきており、今年度も継続する予定。受容協力医師数は100人増の2250人を目標にできましたが、2115人に留まっています。また「ファシリテーター養成研修会」を引き続き開催します。さらに遺贈寄付の働きかけとして、提

携先の三井住友信託銀行と講演会などを共催、会報にも「遺贈・相続寄付のご案内」を掲載するなど、いっそう力を入れていきます。

会員・非会員を問わず終末期医療に関する相談を受け付ける「メール・電話医療相談」は約500件の受電と約1400件の相談に助言を行いました。書籍販売は「リビングウイルノート」が512部、64万2700円で昨年とほぼ同数でした。

②は「会員数の現況」を参照。③の活動として、一昨年9月にアイランド・ダブリン大会で決定した「第26回尊厳死協会世界連盟東京大会」（11月25日〜28日、都市センターホテル）に向けて、協会内に準備委員会を立ち上げ、入念に準備を進めています。

25年度決算

1999万円の赤字予算でしたが、結果は収益約2億6100万円に対し経常費用が約1億

8500万円、約7600万円

の大幅な黒字決算。当初は経常収益の減少と費用増により赤字が見込まれていましたが、複数の大口遺贈の受け入れにより7600万円の黒字決算となりました。

26年度予算

受取会費は会員数の減少などから約9100万円と1億円を割り込む予算としました。会費収入に寄付などを含めた経常収益は約

1億1600万円を見込み、一方、経常費用として2億1300万円を計上。約9700万円の赤字予算としますが、これは「世界大会」の費用などを見込んだものの。大幅な赤字予算となります

が、引き続きリビング・ウイルの普及啓発の拡大、調査研究事業等に力を注ぎつつ、会員数の減少に歯止めをかけ、公益法人としての新たな収入源の確保などに取り組むこととなります。

日本尊厳死協会の決算・予算書(要約) 単位：円 △はマイナス

科目	2025年度予算	2025年度決算	2026年度予算
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	107,005,000	99,902,482	91,284,000
受取寄付金	36,470,000	155,393,961	11,470,000
受取補助金等	0	0	5,000,000
雑収益	4,828,000	4,543,659	6,532,000
その他収益	221,000	890,448	1,472,000
経常収益計	148,524,000	260,730,550	115,758,000
(2) 経常費用			
事業費	145,772,000	156,436,101	191,281,000
管理費	22,739,000	28,499,117	21,769,000
経常費用計	168,511,000	184,935,218	213,050,000
当期経常増減額	△ 19,987,000	75,795,332	△ 97,292,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産受贈益		139,271,000	
経常外収益計	0	139,271,000	0
(2) 経常外費用			
経常費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	139,271,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 19,987,000	215,066,332	△ 97,292,000
一般正味財産期首残高	631,031,649	562,247,455	723,866,346
一般正味財産期末残高	611,044,649	777,313,787	626,574,346
II 指定正味財産増減の部			
特定資産運営益	1,000	5,869	6,000
当期指定正味財産増減額	1,000	5,869	6,000
指定正味財産期首残高	2,846,228	2,847,796	2,853,526
指定正味財産期末残高	2,847,228	2,853,665	2,859,526
III 正味財産期末残高	613,891,877	780,167,452	629,433,872

LW受容協力医師制度の展望

ルポ——「夢のように出会った先生に、ぜひインタビューを！」

訪問診療にかける細田亮・受容協力医師の熱く深い思い

協会会員の方からのメールを受け、向かった先で改めて知る
超高齢社会の在宅診療の実際と対応に追われる日々

90歳になる協会会員の長山隆知さんから会報編集あてにメールが届いた。尊厳死協会の会員数減少と、思うように伸びない受容協力医師数を心配してのもので、「何とか協力したい」という熱い思いが伝わってきた。

「私事ではありますが……」としてメールは以下のように綴られていた。「昨年6月、家庭医から訪問診療を



誕生日にクリニックから贈られたブーケの前に長山さん

受けるよう指導され、地域包括支援センターの担当職員に『尊厳死協会受容協力医師』の紹介をお願いしていました。しかし『当市には病院勤務の協力医師はおりますが、訪問・看取りに対応される医師はおりません』とのこと。北海道富良野にお住いの脚本家で協会顧問の倉本聰さんが「会報インタビュー」で言われているように、医師の中には協会の理念にあまり理解を示されない先生方もいらつしやいます。そんなことを思い出したりしながら、なかば諦めていました。ところがその4か月後の10月、私に驚くようなことが起きました。支援センターの担当職員から『24時間365日相談可能な訪問医がおります』との知らせ。正直、受容協力医師にお世話になることはもう無理と思っていましたので、夢

のような話でした。(略)その医師は誠実な先生で、千葉県鎌ヶ谷市の『はもれびクリニック』の細田亮先生といえます。開成高校から千葉大医学部に進まれた、まだお若い先生です。ぜひ1度、24時間365日、患者に対応しているお姿を目と耳で確認してほしいのです。私たち高齢者に必要なのは、地域に溶け込み、難病・高齢者に心の治療もしてくださる先生なのです。地域社会で実際に活動している受容協力医師の紹介は極めて重要であると思います。取材・インタビューをぜひ試みてください」

1となった。29年前に奥さんを亡くされた長山さんは10年前に協会会員に。今、息子さん(62)との二人暮らし。息子さんは2度の脳内出血に襲われ、現在は無職とか。

24時間365日、電話に出てもらえるので……

お二人が住む西白井駅近くの広いマンションに入る。廊下は片づき、掃除用ロボットがリビングの隅にあった。細田医師が言う。「部屋、きれいでしょ? 長山さん宅は、いつもきちんと整頓されてるんです。訪問診療って、その人がどういうふう

に生活し、何を大事にして暮らしておられるかがわかることなんですよね。その人の素を知ることができるのか……」

「夢のよう」な細田医師を迎えて、

長山さんは、なんとも嬉しそうにお茶を出そうとしている。細田医師はそつと近寄り、下腹部をさすりながら「ココ、張ります?」「便通はどうです?」「食事はきちんととれます?」「睡眠は?」と、矢継ぎ早に聞き、看護師がパソコンに打ち込んでいく。長山さんは高齢もあり、圧迫骨折や脊柱管狭窄症、高血圧の

他に胃がんの手術もされている。細田医師が長山さん宅に訪問診療に入って7か月。当初は月に2回だったのが今は1回。「1回の時間はどのくらいです?」と聞くと、「30分くらい」と長山さん、「いや、20分くらいでしょうかね」と細田医師。「20分くらいでしたか、もっと長く感じますけど」と長山さん。待ちか

ねての時間は濃密に流れ、長く感じられるもののだろうか。血圧を測ってもらいながら長山さんが言う。「私ら高齢者は、いつ急変して死ぬかもしれないと、絶えず心配してる

んです。24時間電話に出てもらえる細田先生によって、そのところは

一応、解決しましたので、おかげさまで、今は安心してらんです。ホントにありがたいことです」

はもれびクリニック 細田亮医師インタビュー

細田医師は43歳。千葉大医学部を出たあと、国立病院機構東京医療センターに勤務後、2015年に訪問診療専門のクリニックを開設して今に至る。日本血液学会、緩和医療学会、死の臨床研究会、スピリチュアルケア学会などに所属している。

「1年くらい」と言っ受けてました

——尊厳死協会の受容協力医師に登録されたのは2022年ですが、そのきっかけは?

細田 たぶん、会報が送られてきて「受容協力医師、どうですか」と誘われたんだと思います。その時、自分の考えとマッチしていると感じたので、特にこちらの負担もないようでしたから、登録させてもらいました。

——医師になろうと決めたのは高校の頃ですか。

細田 具体的に固まったのは高2の

頃かと思います。でも漠然とは、小学生の頃ですかね。卒業文集にすでに「医者になりたい」と書いてました。それと、機器に向き合うIT関連などの仕事よりも、教師とか医師とか人を相手にする仕事がいいなあ、とは思っていましたね。

——「はもれび」、いいネーミングですね。

細田 「こもれび」という名前のクリニックは、いっぱいあるようですが、「はもれび」はないようです。これは職員の投票で決めました。「葉からもれる光」という「はもれび」は辞書にもあったようなので。実際、日は木よりも葉と葉の間からもれるんですよ。葉を人に見立てて、人と人の間を温かく照らすという意味もあると思っています。私たちクリニックの方針は、患者さんの「疾患」を診るというより、患者さんその人を診させていただくという点に置い



はもれびクリニックはマンションの1階にある訪問診療専門のクリニック



看護師に血圧を測ってもらいながら「先生との出会いは夢のようでした」と話す長山さん

私の希望表明書 ①

【記入は任意です。書きたい時がきたら記入してください。迷う場合は書かなくてもよいです。】
リビング・ウィル3箇条に加え、私の思いや人生の最終段階における具体的な医療に対する要望にチェックを入れました。自分らしい最期を生きるための「私の希望」です。

記入日 年 月 日 本人署名

希望する医療措置について

- ☐ 点滴 ☐ 輸血 ☐ 酸素吸入
☐ 人工呼吸器装着 ☐ 人工透析 ☐ 抗がん剤 ☐ 心肺蘇生 ☐ 昇圧剤や強心剤

希望する栄養や水分補給

- ☐ 口から入るものだけを食べさせてほしい ☐ 状態に応じた少量の点滴
☐ 胃ろうによる栄養 ☐ 経鼻チューブ栄養 ☐ 中心静脈栄養

緩和ケア

- ☐ 医療用麻薬や鎮静薬も使用して、痛みを感じることがないように十分な緩和ケアを行ってほしい
☐ 肉体的な苦痛だけでなく、精神的・社会的な痛みへのケアも行ってほしい
☐ 私の死に直面し、喪失感と悲嘆に暮れる人々への精神的・社会的なケアを行ってほしい

意思の疎通ができなくなったとき

- ☐ リビング・ウィルと「私の希望表明書」だけでは判断しきれない場合は、
私の代諾者や医療・ケアに関わる関係者が繰り返し話し合い、私の最善を考えてください
☐ 私が少しでも意思表示をする場合は、その意図をくみ取る努力をお願いします

最期の過ごし方

場所

- ☐ 自宅(自分の家・子供の家・孫の家・親戚の家:具体的な名前 _____)
☐ 自宅以外(_____)
☐ 高齢者施設の居室 ☐ 介護施設 ☐ 病院 ☐ ホスピスや緩和ケア病棟
☐ 分からない ☐ その他(_____)

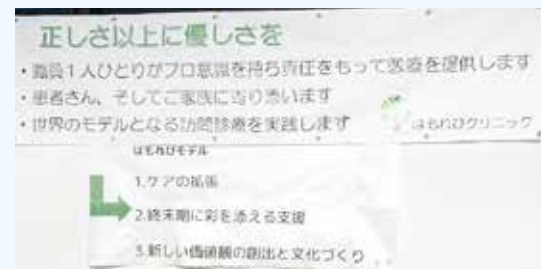
誰と(ペットの名前を書かれても結構です)

1. _____
2. _____
3. _____

どのように



「患者さん本人と同時にご家族への心のケアも大事なんです」と話す細田医師



朝礼のあとにみんなで唱和するという

ています。
——「はもび」は、ハーモニーに語
感も似てますよね。ところで、訪問
診療専門のクリニックを立ち上げた
のはいつですか。
細田 血液内科の専門医の資格を取
り終わったあたりでした。次はエイ
ズに関わるうかと思っていたところ
に、知り合いの看護師から「在宅医
療、やりませんか？」と声をかけられ
たんです。31歳の頃でしたね。ちょ
うど双子の子どもが生まれた頃でも
あり「1年くらいなら」と言っ受
けたんです。雇われ院長で、看護師
一人、事務員一人の3人でスタート
しました。やってみたらハマってし
まったといいますが、もう12年にな

ります。その間、2021年に移
転した際、医院名も「くぬぎ山」か
ら「はもび」に変えました。
——訪問診療のいいところは何です
か。
細田 患者さんその人の背景がわか
るといいますか、そういうことかな
と、あとで感じました。その人の病
状が良くなるのは「病院より家」だ
と思いますね。家の方が笑顔が多い
ですよ。家に伺って笑顔を見る。
やりがいを感じる瞬間ですね。
——この12年間に、どのくらいの方
を看取られましたか。
細田 年間70〜80人の方を看取って
いますね。マックス100人だった
年もありました。ですから、これま

で800人以上ですかね。施設の方
も多いので、家だけなら400人
くらいでしょうか。訪問診療は患者
さんへのケアはもちろんですが、ご
家族へのケアも大事になります。そ
してその先に地域全体のことも考え
られるように、と日ごろから心がけ
ています。
——「持ち回り・分担」で対応
壁に張り紙がありますね。「正
しさ以上に優しさを」とあります。
細田 うちのモットーです。その下
に、①職員一人ひとりがプロ意識を
持ち責任をもって医療を提供しま
す、②患者さん、ご家族に寄り添い
ます、③世界のモデルとなる訪問診
療を実践します、と書いてあ
り、さらにその下に「はもび
びモデル」として、①ケアの
拡張、②終末期に彩を添える
支援、③新しい価値観の創出
と文化づくり、とあります。
日本は今、超高齢社会で、そ
の中で訪問診療や看取りなど
さまざまなノウハウが蓄積さ
れていっています。世界では
これから超高齢社会を迎える
国々が増えてくるでしょう。
そんな時に、日本の在宅医療
のやり方や知恵が、きつと役

に立つと思っています。
——日本の経験を引き継いでいくと
いうことですね。
細田 世界にも次の世代にも、伝え
ていかなくてはと思っています。で
すから日本の若い世代の人たちも、
介護や看取りの現場に入ってきてほ
しいですね。祖父母の世代を親世代
と一緒に介護し、看取る。その経験
が引き継がれる。経験のリレーが必
要だと思っています。
——24時間365日対応、というこ
とですが、どんな体制で？
細田 今、医師が3人、看護師が8
人、事務員が10人ほどいますが、そ
の中の6人ほどで回して対応してい
ます。1つのケータイをその日の担
当者に渡すという「持ち回り・分担」
のやり方ですね。そうそう、今日は
僕の担当です。

(会報編集部・郡司 武)

LW受容協力医師とは
当協会のLWの趣旨に賛同し、
氏名を公表して会員の力になり
たいと表明された医師。現在
2100人ほどが登録。
登録医師には協会が「認定証」
を発行。最新リストは支部HP
から閲覧することができます。

基本的には相談員（看護師）がお答えしますが、顧問医のお力をお借りすることもあります。

23

今年6月の診療報酬改定で、末期腎不全患者も緩和ケアが受けられるようになり、医療相談には透析の開始、不開始についての相談が寄せられます。今回は、透析に前向きな本人の気持ちを尊重しながらも緩和ケアを中心に過ごさせたい、と願う家族。その葛藤をお伝えします。

85歳の夫は「腎機能が低下してきているので、そろそろ血液透析を検討してください」と主治医から伝えられました。夫は透析に対して前向きですが、最近は疲れやすく動作もゆっくりになりました。このような状態で週に3回、長時間拘束される透析をいつまで続けられるか心配です。最近『透析を止めた日』（堀川恵子著）という本を読んで、透析は一度始めたら容易に中止できず、限界がきても緩和ケアを十分に受けられないことを知りました。高齢者の夫には、このような時が遠からずくると思いますが、苦しい思いはさせたくありません。

A 腎不全の透析療法は、残された時を有意義に過ごすためにも捉えられていますので、本人の価値観や人生観が反映されます。趣味や日々の生活を楽しむ一方で、倦怠感が強く何もできず後悔していると訴える方もいます。特に高齢者への透析は体調管理が大切になりますので、家族の支えも尊重されないと継続は難しくなります。

A 残された腎機能の状態にもよりますが、保存

腎臓療法（CKM）という選択肢もあります。残っている腎機能をできるだけ維持しながら薬物療法や食事療法を最大限に行い、緩和ケアを中心とした医療に移行していくという考え方です。

A 本人のLWと「私の希望表明書」を主治医や看護師など医療従事者にお伝えください。人生の最終段階を、どこで、だれと、どのように過ごしたいかを家族間で再確認し、「今は大丈夫だけど、このような状態になったらこうして欲しい」ということについて事前に主治医と合意書を取り交わしておくことをお勧めします。

A 診療報酬改定で、今年6月から腎不全患者も緩和ケア病棟への入院や訪問医療、緩和ケア外来などで適切な緩和ケアが受けられるようになりました。これまでも、一部の緩和ケア専門家が非がん疾患の緩和ケアに取り組んできましたが、これを機に緩和ケアが全ての疾患に届くことが期待されます。

A 病状や環境の変化によって気持ちが変化することはよくあります。「一度決めたら変えられない」のではなく、疑問や不安に思ったらその都度話し合いの場を設けてもらい見直しをしていきましょう。

(医療相談員 平林池保子)

キ
リ
ト
リ

季節を感じさせる1枚の写真と
懐かしい唱歌などでつづるページです

四季の歌

——その風景と背景

第三十七回

かたつむり

文部省唱歌



でんでん虫^{むしむし}

かたつむり、

お前のあたまは^{まえ}

どこにある。

角だせ^{つの}槍だせ^{やり}

あたま出せ^だ。

でんでん虫^{むしむし}

かたつむり、

お前のめだまは^{まえ}

どこにある。

角だせ^{つの}槍だせ^{やり}

めだま出せ^だ。

〔尋常小学唱歌（二）明44・5より〕

古くから伝わるわらべ歌を下敷きにして、小学1年生用に編纂された文部省唱歌。作詞は、春は名のみの風の寒さや、の「早春賦」で知られる吉丸一昌（1873～1916年）とされる。東京音楽学校（現・東京芸大）の教授を務めた吉丸は、明治末から大正にかけて発行された「尋常小学唱歌」（全120曲）の編纂委員会歌詞担当の中心となって活躍した。大正天皇即位の「御大礼奉祝合唱歌」の作詞も担当している。かたつむりは、でんでん虫ともマイマイとも呼ばれる。「でんでん虫」とは「出る出る虫」という意味。殻の中に入って出てこないカタツムリに「出てこいよ」と促している歌。角と槍は触角のこと。幼い子どもたちが地面すれすれの目線で、カタツムリに語りかけている構図がほほえましい。梅雨の季節、小学校の教室や音楽教室で合唱した、幼い日の懐かしい光景がよみがえってくるではありませんか。吉丸の故郷・大分県臼杵市にある「吉丸一昌記念館・早春賦の館」では、ゆかりの楽譜や遺品が展示されているという。

東北支部

☎ 0120-211-315 ✉ tohoku@songenshi-kyokai.or.jp

出前講座

日時◎ 6月21日(日) 午後2時～4時

テーマ「尊厳死とは～積極的安楽死・医療ほう助死、尊厳死との違い～」

講師◎ 伊藤道哉(東北支部長、医師)

会場◎ 岩手県北上市総合福祉センター(北上市常盤台2-1-63)

主催◎ 北上市社会福祉協議会
傾聴ボランティアの会第2回「未来テラス東北」
(旧交流サロン)

日時◎ 7月16日(木) 午後2時～

テーマ「芳香が脳を活かす」

講師◎ 伊藤道哉(東北支部長)

会場◎ 仙台市市民活動サポートセンター
(仙台市青葉区一番町4-1-3
地下鉄南北線広瀬通駅
「西5番出口」すぐ)

定員◎ 30人(事前予約申し込み順、無料)

支部長から

東北支部ホームページに「LW(リビング・ウィル)のチカラ②」として「透析をやめたあとの緩和ケア病棟入院は何をもたらすのか～末期腎不全が緩和ケア病棟の対象になると知り妄想した私見～」を載せています。

「2026年6月の診療報酬改定により、緩和ケア病棟で受け入れることができる患者の範囲が広がる。末期腎不全や末期呼吸不全も含まれる。末期腎不全では、透析を

市民講演会

日時◎ 9月3日(木) 午後2時～

テーマ「生と死の境を越える
黄泉がえり」

講師◎ 伊藤道哉(東北支部長)

会場◎ 仙台市市民活動サポートセンター

定員◎ 50人(事前予約申し込み順、無料)

「第30回東北支部八戸大会」&
「第12回東北リビングウィル
研究会」

日時◎ 9月13日(日) 午後1時半～3時

テーマ「尊厳ある生と死」

講師◎ 小倉和也(医療法人はちのへ
ファミリークリニック院長、医師)座長◎ 今 明秀
(八戸市民病院事業管理者、医師)会場◎ ユートリー多目的ホールB
(八戸市一番町1-9-22、
新幹線八戸駅直結)

定員◎ 200人(事前予約申し込み順、無料)

中止したあと亡くなるまでの時間が非常に短いことが少なくない。透析中止後の生存期間は数日から一週間前後、場合によっては、二、三日で亡くなることもある。緩和ケア病棟が『透析をやめたあと、死亡直前に入る場所』と受け取られてしまう危険があるのではないだろうか…」。

詳しくはホームページをご参照ください。
(支部長 伊藤道哉)

四国支部

☎ 087-833-6356 ✉ shikoku@songenshi-kyokai.or.jp

国支部・香川は10月12日(月・祝)に懇談会を開催します。講師に上田利枝氏をお招きし、参加者全員が小グループに分かれて「もしバナゲーム」を実習します。

令和8年度
リビングウィル香川懇談会

日時◎ 10月12日(月・祝) 午後1時半～3時半

テーマ「もしバナゲーム体験」(仮)

講師◎ 上田利枝(一般社団法人キラメキ
社会福祉士事務所 代表理事)会場◎ 高松市生涯学習センター まなびCAN
大研修室(高松市片原町11-1)対象◎ 日本尊厳死協会会員、一般市民の方
定員◎ 40人(無料、先着順)

北海道支部

☎ 0120-211-315 ✉ hokkaido@songenshi-kyokai.or.jp

オンライン講演会

日時◎ 7月18日(土) 午後2時～3時半

テーマ「欧州のホスピス～訪問ホスピスの
担い手は市民ボランティア～」講師◎ 浅川澄一
(福祉ジャーナリスト)

主催◎ 日本尊厳死協会北海道支部

定員◎ 500人
(会員・非会員を問わず無料)

形式◎ オンライン(ZOOM)

申し込み◎ 北海道支部ホームページ(前日まで)

【講演要旨】

日本の介護レベルは介護保険施行後に急速に高まった。集団管理型から個別ケアへと転換、認知症ケアでは北欧にほぼ追いついた。「本人本位」の考え方の浸透による。だが、人生の終末期である「死に際」は、「生」に拘る医療者と家族の権限が強い。本人の思いや自己決定が成就しない。では欧州ではどうか。私が訪ねた緩和ケアやホスピスの現場を振り返ってみる。日本より5年前に介護保険を導入したドイツのホスピスは日常生活の延長そのものだった。QOL(生活の質)の尊重がQOD(死の質)でも続く。入所型や緩和ケア病棟のほかに、QODを体現した、日本では数少ない「訪問ホスピス」が普及している。しかもその担い手は市民



ボランティア。医療・介護サービスの枠を超えた普通の生活として定着していればこそだ。

セミナー(第6回)
最晩年の生き方を考える集い
～医療と介護から～

日時◎ 7月14日(火) 10時～11時

テーマ「なぜ多くの人が
延命されるのですか？」

講師◎ 宮本礼子(北海道支部長、医師)

対象◎ 一般市民(会員、非会員を問わず、無料)

会場◎ 札幌エルプラザ4階 大研修室
札幌市北区北8条西3丁目

定員◎ 60人(申し込み不要、当日先着順)

連絡先◎ hokkaido@songenshi-kyokai.or.jp

*参加の皆さまの疑問にお答えします。

ホームページ動画セミナー
(北海道支部ホームページに掲載)

第3回 日本尊厳死協会北海道支部・
札幌市在宅医療協議会 共催講演会(4月18日)
テーマ「最期まで自分らしく生きるために
～がんの在宅緩和医療と尊厳～」

約200人のご参加をいただき、大変有意義な講演会になりました。

九州支部

☎ 0120-211-315 ✉ kyushu@songenshi-kyokai.or.jp

九州支部 活動報告

九州支部おおいだ主催の市民公開講演会が3月20日に開催されました。今回で24回目となりましたが、96人の参加があり、有意義な講演を聴くことができました。有永信哉氏(九州支部おおいだ副会長)からは、乳がんの事例をもとに、「あの世」に旅立つ準備をしておくことによって可能な治療を受けながら有意義に生きることができるのではないかとのお考えが示されました。また北村義浩・日本尊厳死協会理事長からは、(1)死についてみんなで考える、(2)生きていく間は元気に過ごす努力をする、(3)お迎えが近くなった時にどうするかを今のうちに書いておくことが大切、との内容をユーモアをまじえてわかりや

すく解説していただき、参加者の理解が深まった講演会になったと思います。

今後も公開講演会を通じて、啓発活動を継続できればと考えます。(九州支部おおいだ 川野克則)



「初めての天国旅行を楽しむための準備」などについて話す北村理事長

市民公開シンポジウム in 豊能町

日時◎ 9月20日(日) 午後1時～3時(予定)

会場◎ ユーベルホール

(大阪府豊能郡豊能町東ときわ台1-2-5)
※能勢電鉄妙見線(山下駅から妙見口行き
に乗り換え)ときわ台駅を出て南東へ徒歩
約15分

テーマ「自分のために、家族のために
『尊厳ある死』とは」

登壇者◎ 関本雅子医師(関西支部理事)、
馬渡秀徳医師(まわたり内科院長)、
小池友紀(循環葬運営会社代表)

ファシリテーター◎ 小宮悦子(関西支部理事)

定員◎ 500人(参加費無料)

共催◎ 株式会社フリーステーション、
at FOREST 株式会社

※申し込みなどの詳細は関西支部のHPでご確認
ください。

中国支部

☎ 0120-211-315 ✉ chugoku@songenshi-kyokai.or.jp

支部名が「中国地方支部」から「中国支部」になり
4か月になりました。今後も充実した支部運営を
心がけてまいりますので、引き続き、よろしくお
願い申し上げます。

地域セミナー in 庄原市

日時◎ 9月13日(日) 午後1時半～3時

会場◎ 庄原市ふれあいセンター 1階小会議室
広島県庄原市西本町4丁目5-26

テーマ「住み慣れた地域で
最期まで暮らす方法」
「なぜ『生きかたノート』が
必要なのか」

講師◎ 高橋浩一
(中国支部長、医療法人平和会折口医院院長)
戸谷誠二
(医療法人社団聖仁会戸谷医院院長)

定員◎ 24人(無料。要予約。
定員に達した時点で申込終了)

米子市民公開講演会

日時◎ 10月25日(日) 午後2時～4時

会場◎ 米子市福祉保健センターふれあいの里
4階中会議室(鳥取県米子市錦町1丁目139-3)

講師◎ 信友直子(映画監督)
2017年映画「ぼけますから、よろしくお
願いします」が20万人を動員する大ヒッ
ト。文化庁映画賞・文化記録大賞など受賞。

テーマ「ぼけますから、よろしく
お願いしますと気兼ねなく
言える米子市に!」

後援◎ 米子市、鳥取県西部医師会

定員◎ 180人(無料、予約不要、
直接会場にお越しください)



10月25日開催の米子市
民公開講演会の講師・信
友直子さんと高橋支部長
(この写真は2025年10
月13日に松江市で行わ
れた講演会で)

地域セミナー in 山口市

日時◎ 11月8日(日) 午後1時半～3時

会場◎ 山口県教育会館 第二会議室
(山口市大手町2-18
上山口市駅より徒歩15分)

講師◎ 原田唯成
(医療法人新生会いしい・クリニック)

テーマ「最後まで自分らしく
生きるために～尊厳死・人生会議・
医療の意思決定を考える～」

定員◎ 15人(無料、要予約。
定員に達した時点で申込終了)

東海北陸支部

☎ 0120-211-315 ✉ tokai@songenshi-kyokai.or.jp

リビングウイユル懇話会 in 金沢

日時◎ 7月25日(土) 午後2時～4時
(受付:午後1時半～)

講師◎ 大和太郎
(医療法人社団 KaNaDe
理事長・やまと@
ホームクリニック院長)



テーマ「住み慣れた地域で
暮らすということ
～暮らしの中に緩和ケア～」

講師紹介◎ ミッションは『大切なもの』を守り、住
み慣れた場所で生きる地域の方々の LIFE (いのち・
生活・生きがい) をサポートすること。クリニック、
訪問看護、高齢者施設、居宅介護支援事業所、街
の保健室などを運営。

会場◎ 金沢市文化ホール大会議室
(金沢市高岡町15番1号
JR金沢駅前・東口バスターミナル3番・
8～11番のりばから乗車。
「南町・尾山神社」下車、徒歩約3分)

定員◎ 90人(無料、事前申し込み不要)

緩和ケア学び隊

日時◎ 7月28日(火)、9月22日(火・休日)

内容◎ 7月の講師は、乳がんのステージ4患者と
して地域のがん教育に取り組んでいる金
井愛と、当支部理事の安藤明夫。「ステージ
4がん患者の地域生活を考える」をテーマ
に2人が語り合います。9月の講師は、自
身も患っていた経験から小児がん闘う

子どもたちの支援活動をして
いるシンガーソングライター
の谷山健太郎。小児から成人
へ移行する期であるAYA(15
歳～39歳)世代に寄り添っ
た話題や、小児がんの晩期障
害を取り上げる予定。



金井愛さん

時間はともに◎ 午後1時半～3時半
(受付:午後1時～)

会場◎ 青木記念ホール
(名古屋市中村区
中村中町3-30
(地下鉄東山線中村公園駅から徒歩8分)

定員◎ 20人(無料、下記へ事前に申し込みください)
☎ 052-481-6501
(平日午前9時～午後6時)



谷山健太郎さん

地域サロンへのお誘い

日時◎ 10月27日(火) 午後1時半～3時半
(受付:午後1時～)

会場◎ 青木記念ホール
(名古屋市中村区中村中町3-30
(地下鉄東山線中村公園駅から徒歩8分)

「尊厳死」や「リビング・ウィル」はじめ人生の最終
段階での医療、在宅介護にまつわる希望や悩みを
アットホームな雰囲気の中で語り合う場を久々
に設けました。会員以外の方も参加いただけます。
ぜひお誘い合ってお越しください。

定員◎ 10人(無料、下記へ事前に申し込みください)
☎ 052-481-6501
(平日午前9時～午後6時)

関西支部

☎ 0120-211-315 ✉ kansai@songenshi-kyokai.or.jp

日本ホスピス・在宅ケア研究会 全国フォーラム2026 in 姫路

関西支部は以下のセッションを行います

日時◎ 8月22日(土) 午前10時～12時

会場◎ アクリエ姫路 小ホール(姫路市神屋町143-2)

定員◎ 200人(申し込み不要、無料)

テーマ「ACP～尊厳死から安楽死の
グラデーション」

登壇者◎ 関本雅子医師、桜井 隆医師、
白山宏人医師(3人とも関西支部理事)

会場の方との対話を通して、普段は聞きにくい、
話し辛い「死」の迎え方について考察します。

市民公開講演会 in 尼崎

日時◎ 9月6日(日) 午後1時半～4時(開場1時)

会場◎ いかりライクスホール(兵庫県尼崎市塚口
町1丁目15番の8 いかりビル塚口3F
阪急神戸線「阪急塚口駅」北口より徒歩2分)

テーマ「尊厳死と安楽死のはざま
～いい死に方とは～」

講師◎ 久坂部 羊(作家) 久坂部さんは1955
年、大阪府生まれ。大阪大学医学部卒。医
師。2014年、『悪医』で日本医療小説大賞。
ほかに『破裂』『神の手』など。

定員◎ 200人(無料。申し込みは電話のみ。
☎ 0120-211-315 平日10時～16時)

・住所を変更された場合はお知らせください

施設などに移って住所を変更される方が多くいらっしゃいます。会報や年会費の請求書などが戻ってきてしま
いますので、住所を変更された場合は、すぐに協会に電話かFAX、メールでご連絡ください。3年間、年会費の
支払いが滞りますと「自動退会」となってしまいますので、お気をつけくださいますようお願いいたします。



〈にぎわった「Deathフェス2026」〉

東京・渋谷ヒカリエで4月11日(土)～16日(木)の6日間にわたって開催された「Deathフェス2026」(入場無料)は、5000人を超える来場者でにぎわいました。今回で3回目の「Deathフェス」に協会は初めて協賛として参加。「北村義浩理事長のトークセッション」「特設ブースによる展示」などを行い、協会の活動をアピール。協会の会員の方も大勢来場されました。

テーマは「生も死も、自分らしく選べるウェルビーイングな時代へ」

「Deathフェスは」は、死を忌避せず、死を人生の一部として捉える場であり、「死」を通して「今をどう生きるか」を考え、世代を超えて生と死のウェルビーイングを追求する機会、ととらえ、具体的には、トークセッションや体験型ワークショップ、生前葬体験、死装束撮影会、近年の死生観研究の発表、さらには行政の取り組みなど多種多様なプログラムによって、「死」をさまざまな角度から見つめるという、充実した6日間となりました。

北村理事長と浦出美緒さんのトークセッション

タナトフォビア協会代表の浦出美緒さん(看護師、デスフェス協会理事)と日本尊厳死協会の北村理事長のトークセッションは、見ごたえ聴きごたえのあるものとなりました。「タナトフォビア」とは、死を極端に恐れる性格の人の

ことを言います。セッションは45分と短い時間でしたが、基本的な「尊厳死」の知識、「リビング・ウィル」の必要性、「安楽死と尊厳死の違い」等を具体例をあげて紹介。終了後も、協会ブースに立ち寄る方が多く、協会の活動を知っていただく良い機会となったようです。(トークセッションはDeathフェスのyoutubeにて公開されています。

(<https://www.youtube.com/watch?v=Zu5lle4afpw>)

協会も特設ブースを設置

ブース出展も行いました。会報をはじめ入会案内書、今年11月に開催される「世界連盟東京大会2026」のチラシ等を配布しながら、若い人も尊厳死に関心があることを痛感。一方で、「安楽死と尊厳死の違い」について認識していない方が多いことも知りました。

多くのメディアも取材に

多くのメディアも駆けつけ、取り上げていただきました。NHK、テレビ朝日、フジテレビ、毎日新聞、日経新聞、共同通信など計27社。海外(ロシア、韓国)からの取材もありました。回を重ねるごとに発展していく「デスフェス」。一般社団法人となり、今後は出版や各種セミナーにも進出していくとのこと。次回開催の詳細は未定ですが、4月14日(良い死)の前後に、ここ渋谷ヒカリエで開催したいとのこと。

(丹澤太良・記)

関東甲信越支部 | ☎ 03-5689-2100 ✉ kantou@songenshi-kyokai.or.jp

サロンin本郷(対面)

「尊厳死」や「リビング・ウィル」について語り合しましょう。ご予約をお願いします。

日時◎ 9月19日(土) 午後1時半～3時

定員◎ 12人(無料、要予約、
定員に達した時点で申込終了)

会場◎ 支部事務所 文京区本郷2-27-8
太陽館ビル5階(クローチェ本郷)
日本尊厳死協会内
地下鉄丸の内線「本郷三丁目」駅より徒歩1分
地下鉄大江戸線「本郷三丁目」駅より徒歩3分

※7月と8月は対面型の「サロンin本郷」はお休みさせていただきます、オンラインサロンを開催します。以下のご案内をご参照ください。

オンラインサロン関東甲信越支部 (Zoomミーティング開催)

「尊厳死」や「リビング・ウィル」についてオンラインで語り合しましょう。カメラONでご参加をお願いします。

日時◎ 7月25日(土) 午後1時半～3時

8月22日(土) 午後1時半～3時

定員◎ 12人(無料、要予約、
定員に達した時点で申込終了)

申込◎ 関東甲信越支部イベント・講演会申込
フォームよりお申込みをお願いします。
<https://songenshi-kyokai.or.jp/kanto/entryform>

オンライン公開講演会 (Zoomウェビナー開催)

日時◎ 8月23日(日) 午後2時～3時

テーマ「尊厳死と安楽死
～海外の事情から考える～」

講師◎ 岡崎史子(医師、新潟大学医学部医学科
医学教育学分野担当 主任教授)

申込◎ 関東甲信越支部イベント・講演会申込
フォームよりお申込みをお願いします。
<https://songenshi-kyokai.or.jp/kanto/entryform>



左がオンラインミーティング、右がオンラインウェビナーの申込QRコードです



関東甲信越支部 活動報告

関東甲信越支部では、既存の会員の方だけでなく、非会員の方にもリビング・ウィルに興味を持っていただけるような取り組みを心がけております。

活動内容としては協会本部(本郷)で毎月開催している「サロンin本郷」、1年を通じて1都9県を巡回する講演会やセミナー、またご依頼があれば出前講座にも喜んでお伺いいたします。5月17日(日)に東京・板橋区で開催した講演会では、現役ケアマネジャーの介護亭楽珍さんをお招きし、「三途の川の渡り方～落語で人生の最終章を考える～」と題して、ACPを楽しくカジュアルに啓発していただきました。140人ほどの方が聴講されましたが、皆さま大きな笑い声のなか、ACPの意義と必要性について理解を深めていただけたと思います。

日本には死を忌み嫌い、話題としても避けがちな傾向がありますが、若い世代では「死をもっと身近なものとして話そう」というイベントなども開催されています。関東甲信越支部でも、ひとりでも多くの方に「リビング・ウィル」について興味を持っていただけるような企画、運営に励んでいきたいと思っています。

(関東甲信越支部理事 石田智彦)



地域みなさんへ

リビング・ウィル「出前講座」はいかがですか

●ご依頼により講師を派遣します ●会場のご用意をお願いします ●お問い合わせは支部までどうぞ

2026年3月～2026年5月の間に
新しく登録なった医師の方々です。

第124 報

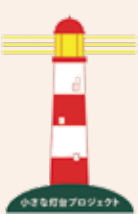
リビング・ウイル受容協力医師

内:内科 循:循環器科 呼:呼吸器科 消:消化器科 呼内:呼吸器内科 消内:消化器内科 外:外科 整:整形外科 小:小児科 放:放射線科
リハ:リハビリテーション科 皮:皮膚科 肛:肛門科 泌:泌尿器科 心内:心療内科 脳外:脳神経外科 緩:緩和ケア科 神内:神経内科
老内:老年内科 麻:麻酔科 精:精神科 肝内:肝臓内科 アレ:アレルギー科 脳内:脳神経内科 訪:訪問診療 看:看とりをしている

医療施設名	診療科	医師名(敬称略)	施設所在地	電話
盛岡赤十字病院	緩・看	畠山 元	岩手県盛岡市三本柳6-1-1	019-637-3111
山王リハビリ・クリニック	リハ・訪・看	森 逸平	東京都大田区東雪谷3-4-2	03-5754-2672
横浜南共済病院	緩・訪・看	鈴木 理央	神奈川県横浜市金沢区六浦東1-21-1	045-782-2101
あけとクリニック	内・訪・看	金井 稔	埼玉県熊谷市川原明戸569	048-577-8878
八千代病院	精・看	三浦 伸義	千葉県八千代市下高野549	047-488-1511
ほしの脳神経クリニック	脳外・内・訪・看	星野 茂	千葉県我孫子市我孫子4-43-17	04-7182-7171
ふくしま在宅クリニック	内・精・呼内・アレ・訪・看	福島 清春	大阪府大阪市城東区古市3-8 プロムナード関目7号棟106	06-6180-9559
岩国みなみ病院	呼・看	野坂 誠士	山口県岩国市南岩国町2-77-23	0827-32-4100

人生の最終段階における医療選択のための意思決定支援サイト

「小さな灯台プロジェクト」ガイド



「知らなかった後悔・言えなかった後悔」を
減らしていくために



「看取りのエピソード」

(87歳母の看取り・京都)

私の母は、1年半にわたり経鼻経管栄養を継続し、妖鬼のような姿で亡くなりました。脳梗塞で倒れ、私が救急搬送先の病院に駆けつけた時、すでに手術は済んでおり、医師からは「手術は成功しました。お母様は植物人間になります」と告知されました。「胃ろうをしないことは餓死させることだ」と胃ろうを勧められ、(中略)転院先の療養型病院では経鼻経管栄養が施されました。2週間に一度、植物状態の母を見舞う辛さは耐え難いものでした。あの時の私は無知でした。あの時、尊厳死協会の情報を知っていればと思うと、悔やんでも悔やみきれません。

これは非会員の方から寄せられたエピソードの一部です。「小さな灯台」には、リビング・ウイルという生き方の選択を知識と勇気をもって

実践されたご遺族が、ありのままの想いを書き綴られた「成功例」が掲載されています。その体験に敬意を込めて紹介し続ける意義について、ともに考えてみましょう。

「小さな灯台」は、サイトによる「コンパッション・コミュニティ」を目指しています。コンパッションとは、共感によって他者の苦しみを深く理解し、それを和らげたいという優しい「思いやり」をもって「行動」することまでを意味します。死や喪失というテーマは専門家でなければ扱えないと逃げ腰になりがちですが、かつての日本人が行っていた「分かち合い」というレベルでこの問題を捉えてほしいのです。

現代は社会背景が多様化し、他者への助言や役割の発揮が難しくなりました。しかし、投稿という「行動」

はどうでしょうか。サイトという直接の影響を避けられる距離感があれば、リビング・ウイルを知らない、あるいは踏み切れない方々が皆さまのエピソードと響き合い、意識の変化につながるかもしれません。

哀しみの中、ご遺族アンケートに添えてくださった「行動」に感謝いたします。会員の皆さまの知識と勇氣は、いつかどこかで、不特定多数の人々の中の誰かの心に届き、「知らなかった・言えなかった後悔」を減らす効果があると信じています。

(小さな灯台プロジェクト・リーダー／
看護師 近藤和子)

〈参考文献〉

- ①『コンパッション都市』
アラン・ケレハー
(慶應義塾大学出版会 2022年)
- ②『自分の死に場所』
島田裕巳(白秋社 2026年)

会報のメール配信登録のご案内

会報「リビング・ウイル」を メールマガジンとしてお送りしています

入会ご希望の方にお送りしております「入会のご案内」の中に、「リビング・ウイル—Living Will—」終末期医療における事前指示書—」があります。その記入欄に、「氏名」「住所」とともに、2017年7月改訂版からメールアドレスをお書きいただく欄を設けています。

お書きいただく方はまだ少なく、会者の5割ほどにとどまっていますが、それでもメールアドレスの登録は1万件を超えました。「会報のメールマガジン配信」も2018年の会報7月号(6月25日配信)から開始いたしました。現会員の方で希望される方は、日本尊厳死協会のHP(ホームページ)からアクセスして、メールアドレスの登録を「メールマガジン登録」からお願いいたします。ご登録次第、配信を開始いたします。

発行の目的

会員が必要とする情報を逐次
配信する連絡ツールとしても
活用します

登録のメリット

協会から送られる情報を共有
し、会報をいち早く読むこと
ができます

発行日と頻度

会報は1月、4月、7月、10
月の各1日発行の年4回です
が、メールマガジンは前月の
25日ごろに配信します

料金

無料

会報をいち早く
読むことができます



ご寄付ありがとうございました（敬称略）

ご寄付いただきまして誠にありがとうございました。対象は令和8年3月1日から令和8年5月31日までにご寄付いただいた方々です。
職員一同深く感謝します。普及啓発事業等に有効に活用させていただきます。

青木 安子	3,000	廣川 ミエ	20,000	匿名・宮城県	10,000	匿名・神奈川県	10,000
岩下 雅子	30,000	弘島 美代子	10,000	匿名・栃木県	5,000	匿名・山梨県	20,000
小川 幸子(さちこ)	10,000	藤原 いずみ	50,000	匿名・千葉県	10,000	匿名・愛知県	384,640
小川 幸子(ゆきこ)	200,000	本田 崇	3,000	匿名・千葉県	2,000	匿名・愛知県	100,000
鈴木 乙美	10,000	渡辺 能持	10,000	匿名・東京都	550	匿名・愛知県	10,000
高野 守	10,000	ペンネーム		匿名・東京都	10,000	匿名・広島県	200,000
竹井 幸江	5,000	「安楽死おいちゃん」	12,500	匿名・東京都	6,000	匿名・福岡県	8,000
辰巳 みつぎ	100,000	ペンネーム		匿名・神奈川県	2,000	匿名・福岡県	3,000
田中 長朝	20,000	「夢」	10,000	匿名・神奈川県	100,000	関東甲信越支部扱い 清田 脩、玲子	20,000
時川 妙子	30,000	匿名・北海道	10,000	匿名・神奈川県	2,000		
西村 信子	10,000	匿名・北海道	11,000	匿名・神奈川県	3,000		

遺贈寄付の受け入れ体制充実へ

当協会は、三井住友信託銀行株式会社（以下三井住友信託銀行）と遺贈希望者の紹介に関する協定をしました。今後、当協会宛に専門的な遺贈寄付の相談がありましたら、三井住友信託銀行の財務コンサルタント等専門のスタッフをご紹介しますことができます。

専門家に無料で相談！

近隣店のご案内

0120-977-641

三井住友信託

検索

スマートフォンの方はこちら



電話受付時間：平日9:00～17:00 ※最寄りの店舗へお取次ぎいたします。

【LW受容協力医師についてのご案内】

全国に2,000人以上が登録しているLW受容協力医師のお名前や医療機関名は、協会ホームページで閲覧することができます。都道府県を指定して検索する方法と、地図から検索する方法の2通りが可能です。紙に印刷したリストをご希望の方は、ファックスか郵便でお送りいたしますので、本部事務局までご連絡ください。

●LW受容協力医師をご推薦ください

会員のみなさまの不安として、周辺に受容協力医師がいないことがあるかと思います。そうした不安を少しでも和らげるため、本部では、みなさまのかかりつけ医師をご紹介いただければ、その医師に「LW受容協力医師の登録」をお願いします。

会員の方の①お名前、②会員番号、③お電話番号、④かかりつけ医師のお名前（病院名）・住所・お電話番号を、本部「受容協力医師担当」まで、電話、ハガキ、手紙、FAXまたはメールでお知らせください。

遺贈と相続寄付で 未来に希望を 送riませんか？

「遺贈をしたい」「相続寄付をしたい」とのお問い合わせが

このところ増えてきています。

それはいったいどういうことなのでしょう。

わかりやすくご案内いたします。

人生最後の社会貢献

●**遺贈**とは、遺言によってご自身の財産のすべてか一部を特定の個人あるいは団体などに遺し、それによって社会貢献活動を支援することを言います。亡くなったあと、自分の思いを叶え、ご自身が生きた証や思いを未来に託すことができます。「人生最後の社会貢献」「未来への贈り物」とも言われます。この遺贈には原則として相続税はかかりません。不動産や株式などでもかまいませんが、詳しくは当協会にご相談ください。

遺贈寄付をなさる場合、まず遺言書の作成が必要です。遺言書には「公正

証書遺言」と「自筆証書遺言」がありますが、自筆証書遺言には「どんな財産があるのか」「誰にどこに、どれくらい遺贈するか」「遺言執行者を誰にするのか」「どのような思いで遺贈を希望するか」などを自ら手書きで文章化しなければなりません。

控除され非課税

●**相続寄付**とは、相続人の意思で、相続された財産から寄付することを言います。相続財産を相続税申告期間内（亡くなった日の翌日から10か月以内）に寄付をし、税務署に申告すれば、寄付財産は相続財産から控除され非課税となります。

日本尊厳死協会にご寄付いただいた
遺産・相続財産には相続税がかかりません。

まず協会にご連絡ください

【本部連絡先】TEL：03-3818-6563 FAX：03-3818-6562

メール：info@songenshi-kyokai.or.jp

皆さまから寄せられる貴重な遺贈・相続寄付は、最期まで自分らしく生き、尊厳ある旅立ちが保障される社会制度を確立するための大きな助けとなります。

●本部

〒113-0033
東京都文京区本郷2-27-8
太陽館ビル501
TEL 03-3818-6563
FAX 03-3818-6562
メール
info@songenshi-kyokai.or.jp
ホームページ
https://www.songenshi-kyokai.or.jp/

●北海道支部

フリーダイヤル 0120-211-315

●東北支部

フリーダイヤル 0120-211-315

●関東甲信越支部

〒113-0033
東京都文京区本郷2-27-8
太陽館ビル501
TEL 03-5689-2100
FAX 03-5689-2141

●東海北陸支部

フリーダイヤル 0120-211-315

●関西支部

フリーダイヤル 0120-211-315
〒669-1529
兵庫県三田市中央町15-43
たなかホームケアクリニック
なんでも相談所内

●中国支部

フリーダイヤル 0120-211-315

●四国支部

〒760-0076
高松市観光町538-2
あさひクリニック内
TEL 087-833-6356
FAX 087-833-6357

●九州支部

フリーダイヤル 0120-211-315

各支部HPへのアクセスは
本部HPからのリンクをご利用ください。
※お電話は平日午前9時半～午後5時。

リビング・ウイル —Living Will—

(人生の最終段階における事前指示書)
(2022年11月改訂版)

この指示書は私が最後まで尊厳を保って
生きるために私の希望を表明したものです。
私自身が撤回しない限り有効です。

- 私に死が迫っている場合や、意識のない状態
が長く続いた場合は、死期を引き延ばすため
だけの医療措置は希望しません。
- ただし私の心や身体の苦痛を和らげるための
緩和ケアは、医療用麻薬などの使用を含めて
充分に行ってください。
- 以上の2点を私の代諾者や医療・ケアに関わ
る関係者は繰り返し話し合い、私の希望をか
なえてください。

私の最期を支えてくださる方々に深く感謝
し、その方々の行為一切の責任は私自身にある
ことを明記します。

リビング・ ウイルの勧め

日本尊厳死協会は、命の終わ
りが近づいたら延命措置を望ま
ないで、自然の摂理にゆだねて
寿命を迎えるご自分の意思を表
した「リビング・ウイル」を発
行、その普及に努めています。

現在約7万人の方々「リビ
ング・ウイル」を持ち、安心し
た日々を送っています。自然の
まま寿命を迎えることは、最期
の日々をよりよく生きること
であり、今を健やかに生きるこ
とにつながります。

お友だちやお知り合いに協会
や「リビング・ウイル」のことを
お伝えいただければ願ってい
ます。

事務局から

会費の自動払込のご案内 希望者へご連絡ください

年会費払い込みには、自動払込制度(金融機関口座から自動
引き落とし)があります。利用には諸手続きが必要です。
ご希望の方は本部事務局までご連絡をお願いします。次の要
領で実施しております。なお郵便局窓口では申し込みません。

- 対 象 ▶ ご希望の会員
- 払 込 日 ▶ 会費払込該当月の28日(28日が土日
祝日の場合は翌営業日に引き落とし)
- 払 込 額 ▶ 会費相当額
- 手 数 料 ▶ 1回の払込に165円(150円+税)の
ご負担があります
- 取扱金融機関 ▶ 国内ほとんどの金融機関(信金、信組、
ゆうちょ銀行、農協含む)
- 領 収 書 ▶ 預金通帳の金額摘要欄に協会名を印
字。領収書は発行しない

●なお、これまで同様、コンビニや郵便局での振り込みも可
能です。会報が緑色のビニール封筒で届きましたら年会費の
納入時期です。封筒の表に「年会費払込票在中」と印刷して
あります。銀行振り込みの場合は会員番号(00を省く)も
記入して下さい。なお振込手数料は郵便局窓口で通帳なら
203円、郵便局ATMが152円、コンビニが110円です。



『ひまわりの歓喜』
今号の1枚

さて久方ぶりの「受容協力医
師」のルポです。協会会員から
の熱いメールに導かれてのもの。
ご登場いただいた細田亮医師が、
訪問診療専門のクリニックを開
設したいきさつやクリニックの
モットー、若い世代への期待、
日々の対応などについて熱く語
っています。また若い医師の「熱
量」を心地よく感じつつの取材・
インタビューとなりました。

(郡司)

※表紙の下方にQRコードを付けましたので、ご利用下さい。

Living Will 目次

— 会報2026年7月 No.202 —

- 02 「世界連盟東京大会」迫る
スケジュールの概略、固まる
- 06 26年度事業計画・予算決まる
- 08 LW受容協力医師制度の展望
ルポ・細田 亮医師の訪問診療
- 11 私の希望表明書
- 13 連載・電話・メール医療相談から
- 14 連載「四季の歌」かたつむり
- 16 支部活動・報告
2026夏～秋
- 22 「小さな灯台プロジェクト」ガイド
LW受容協力医師のリスト
- 23 メール配信登録のご案内
- 24 遺贈・相続寄付のご案内
- 25 寄付された方々
- 26 事務局から／編集後記／目次
- 27 人生の最終段階における
事前指示書／本部・支部一覧
出版案内

裏表紙

協会会員: 6万8099人
(2026年6月3日現在)

次号は、
2026年10月1日発行

※本誌記事の著作権は日本尊厳死協会にあります。
引用、転載に関しましては当協会にご相談ください。

編集後記

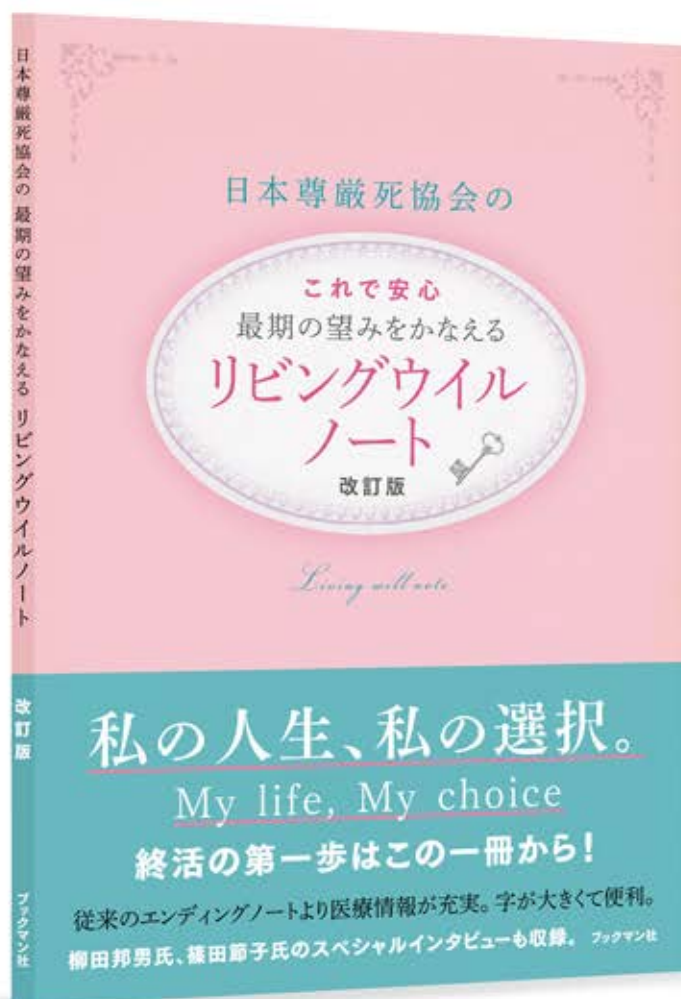
●世界連盟東京大会の概略がほ
ぼ固まり、準備が着々と進んで
います。巻頭の4ページでスケ
ジュール案と世界大会の簡単な
経緯を掲載していますが、その
なかで第1回が東京で行われた
こともそうですが、協会設立わ
ずか2か月後に「日本での国際
会議開催」を決定し準備に入っ
たことに驚かされます。協会創
立メンバーの並々ならぬ「熱量」
と「勢い」に圧倒。その「東京
宣言」にある「人がいかなる死
を選ぶかは自らの決定にゆだね
られるもの」との高々とした宣
言は、超高齢社会を迎えた今、
ますます鮮明な色を帯びてきて
いるように感じます。

日本尊厳死協会の出版案内

好評
発売中!

最期の望みをかなえる リビングウイルノート

最期まで「自分らしく生きる」がここにあります。



主な内容

- 尊厳死協会の会報「Living Will」のインタビューに登場された作家の篠田節子さん、柳田邦男さんの名言を再録。
- 知っておきたい在宅医療の始め方、緩和ケアの大切さのほか延命措置やACP(人生会議)など医療情報の解説や尊厳死協会の役割、尊厳死と安楽死の違い、さらに「私の病気の記録」や「もしもの時の確認メモ」(健康保険証や基礎年金の番号など)、「終末期の最期の過ごし方の希望」「食べることができなくなった時の希望」……など、書き込むページや欄もたくさん詰まったエンディングノートの決定版。
- 「旅立ったあとで～大切な人へのメッセージ」や「旅立つ前に会っておきたい人」、「葬儀に呼んでほしい人」を書き込むリストの欄も充実

発行:フックマン社
定価:1300円(税別) A4判104ページ

この「リビングウイルノート」には、
あなたの「リビング・ウイル」を入れるスペースがあります。
是非お手もとにセットで!!
もしもの時にそなえ、こころの「生前整理」を